

議会報告会報告書

令和7年2月28日

小田原市議会議長
大川 裕様

報告者 議会広報広聴常任委員長
鈴木 和宏

議会報告会（議場見学会）の結果について、次のとおり報告いたします。

日 時	令和6年11月14日（木曜日）午前9時25分～午前10時35分			
場 所	小田原市役所 議場			
出席者	城戸 佐和子	葉畠 寿一朗	寺島 由美子	荒井 信一
	原 久美子	大川 裕		
参加人数	32名（下曾我小学校6年生児童29名、担任教諭3名）			
内容	<p>小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。</p> <p>そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学・議員に対する質疑応答			
主な質疑・意見等	裏面参照			
その他				

<主な質疑等について>

【質疑】小田原市のために小学生ができるることは何ですか
【回答】ごみの分別、燃えるごみ、プラスチックなどの学校・家庭などで実施することが大事です。身の回りの環境を大切にすることです
【質疑】小田原の問題は何ですか
【回答】今年の5月に新しい市長が誕生しました。市長からの提案により、教育・文化・経済・環境など様々な検討がされています
【質疑】どんな市にしたいですか
【回答】子供から高齢者まで、このまちで過ごしやすい安全・安心できるまちづくりもモットーとしています
【質疑】小田原市のよいところは何ですか
【回答】小田原市には多くの資源があります。歴史的建造物、漁港、森林など観光資源を活用して実行できるように考えています
【質疑】議員になって一番難しかったことは何ですか
【回答】市民の要望を市政にどう反映させるのかが難しいです
【質疑】小田原にどのような取り組みを取り入れていきたいと思いますか
【回答】環境問題の取り組みを進めたいです。地域循環型の社会を目指していきたいと思います
【質疑】会議で心がけていることは何ですか
【回答】質問や発言内容を簡潔にするようにしています
【質疑】会議の時間について教えてください。話し合うとき、何時間くらいかかりますか
【回答】午前10時から話し合いが終わるまで、過去には夜中までかかったこともあります
【質疑】市民に一言お願いします
【回答】政治に目を向けてください
【質疑】議員として今の目標は何ですか
【回答】市の職員やほかの議員に私が知っている情報を伝えて、市に考えてもらう、問題を知ってもらうことを目標としています
【質疑】小学生ができることがありますか
【回答】政治に興味をもって、見てもらうことです
【質疑】難しかった仕事は何ですか
【回答】仕事というか、意見集約をしていくことが難しい部分です
【質疑】条例で一番大事なものは何ですか
【回答】議員が提案した地域経済好循環推進条例などは大事です
【質疑】議員になる人がいなかつた場合、どうするのですか
【回答】定数に足らない場合は欠員で対応します

【質疑】要望はいくつくらい実現できましたか

【回答】一人でできるものではありません。数は答えられないですが、様々なものに対応しています

【質疑】議長が休みだったらどうするのですか

【回答】副議長が代わりにいます

【質疑】一番大きな案件は何ですか

【回答】毎年議決している予算案だと思います